

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.12.13-19

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

- 33:14 神はある方法で語られ、また、ほかの方法で語られるが、人はそれに気づかない。
- 33:15 夜の幻と、夢の中で、または深い眠りが人々を襲うとき、あるいは寝床の上でまどろむとき、
- 33:16 そのとき、神はその人たちの耳を開き、このような恐ろしいかたちで彼らをおびえさせ、
- 33:17 人にその悪いわざを取り除かせ、人間から高ぶりを離れさせる。
- 33:18 神は人のたましいが、よみの穴に、はいらないようにし、そのいのちが槍で滅びないようにされる。
- 33:19 あるいは、人を床の上で痛みによって責め、その骨の多くをしびれさせる。
- 33:20 彼のいのちは食物をいとい、そのたましいはうまい物をいとう。
- 33:21 その肉は衰え果てて見えなくなり、見えなかった骨があらわになる。
- 33:22 そのたましいはよみの穴に近づき、そのいのちは殺す者たちに近づく。
- 33:23 もし彼のそばに、ひとりの御使い、すなわち千人にひとりの代言者がおり、それが人に代わってその正しさを告げてくれるなら、
- 33:24 神は彼をあわれんで仰せられる。
「彼を救って、よみの穴に下って行かないようにせよ。わたしは身代金を得た。」
- 33:25 彼の肉は幼子のように、まるまる太り、彼は青年のころに戻る。
- 33:26 彼が神に祈ると、彼は受け入れられる。彼は喜びをもって御顔を見、神はその人に彼の義を報いてくださる。
- 33:27 彼は人々を見つめて言う。

「私は罪を犯し、正しい事を曲げた。しかし、神は私ではなかった。

33:28 神は私のたましいを贖ってよみの穴に下らせず、私のいのちは光を見る。」と。

33:29 見よ。神はこれらすべてのことを、二度も三度も人に行なわれ、

33:30 人のたましいをよみの穴から引き戻し、いのちの光で照らされる。

33:31 耳を貸せ。ヨブ。私に聞け。黙れ。私が語ろう。

33:32 もし、言い分があるならば、私に言い返せ。言ってみよ。あなたの正しいことを示してほしいからだ。

33:33 そうでなければ私に聞け。黙れ。あなたに知恵を教えよう。

エリフは神が人に御心を教え、悟るようにされる方法について語ります。1つは15節からにあるように、夢や幻です。それは高ぶりや滅びから守るためです。もう1つは痛みによってです。そして代弁者としての御使いは弁護してくれて、神は回復を与えてくださるということです。さらに何度も主はそのことをなさって、悟りの鈍い者でもわかるようにしてくださいまし、また回復させてくださるのです。
夢、幻、痛みさえも主の善き計画にあることを信じましょう。またそこから学びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



14日 火曜

ヨブ記



34:1 エリフは続けて言った。
34:2 知恵のある人々よ。私の言い分を聞け。
知識のある人々よ。私に耳を傾けよ。
34:3 口が食物の味を知るように、耳はことば
を聞き分ける。
34:4 さあ、私たちは一つの定めを選び取り、
私たちの間で何が良いことであるかを見分け
よう。
34:5 ヨブはかつてこう言った。
「私は正しい。神が私の正義を取り去った。
34:6 私は自分の正義に反して、まやかしを言
えようか。私はそむきの罪を犯していないが、
私の矢傷は直らない。」
34:7 ヨブのような人がほかにあろうか。彼は
あざけりを水のようにのみ、
34:8 不法を行なう者どもとよく交わり、悪人
たちとともに歩んだ。
34:9 彼は言った。「神と親しんでも、それは
人の役に立たない。」

34:10 だから、あなたがた分別のある人々よ。
私に聞け。神が悪を行なうなど、全能者が不
正をするなど、絶対にそういうことはない。
34:11 神は、人の行ないをその身に報い、人
に、それぞれ自分の道を見つけるようにされ
る。
34:12 神は決して悪を行なわない。全能者は
公義を曲げない。
34:13 だれが、この地を神にゆだねたのか。
だれが、全世界を神に任せたのか。
34:14 もし、神がご自分だけに心を留め、そ
の霊と息をご自分に集められたら、
34:15 すべての肉なるものは共に息絶え、人
はちりに帰る。

34:16 あなたに悟りがあるなら、これを聞け。
私の話す声に耳を傾けよ。

34:17 いったい、公義を憎む者が治めること
ができませんか。正しく力ある方を、あなた
は罪に定めることができますか。

34:18 人が王に向かって、「よこしまな
者。」と言い、高貴な人に向かって、「悪
者。」と言えるだろうか。

34:19 この方は首長たちを、えこひいきせず、
貧民よりも上流の人を重んじることはない。
なぜなら、彼らはみな、神の御手のわざだ
から。

34:20 彼らはまたたくまに、それも真夜中に
死に、民は震えて過ぎ去る。強い者たちも
人の手によらないで取り去られる。

唯一にして全能の神を信じている者は、真理の
「ことばを聞き分ける」ことができます。一方ヨ
ブのように正しく見える人でも、間違うことが
あります。「私は正しい」と言っても、神の前
には間違いや自分中心があります。また「神と親
しんでも…役に立たない」と言っても、それは間
違いで、永遠の命と祝福は神様から来るのです。

苦しいヨブに同情しますが、しかし、人間的な
同情よりも、彼に必要なものは神の永遠の真理と
それによる希望です。苦しさの中でこそ、同情の
思いがあればこそ、神の御心を宣言しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



34:21 神の御目が人の道の上であり、その歩みをすべて見ているからだ。
34:22 不法を行なう者どもが身を隠せるような、やみもなく、暗黒もない。
34:23 人がさばきのときに神のみもとに出るのに、神は人について、そのほか何も定めておられないからだ。
34:24 神は力ある者を取り調べることなく打ち滅ぼし、これに代えて他の者を立てられる。
34:25 神は彼らのしたことを知っておられるので、夜、彼らをくつがえされる。こうして彼らは砕かれる。
34:26 神は、人々の見ているところで、彼らを、悪者として打たれる。
34:27 それは、彼らが神にそむいて従わず、神のすべての道に心を留めなかったからである。
34:28 こうして彼らは寄るべのない者の叫びを神の耳に入れるようにし、神は悩める者の叫びを聞き入れられる。
34:29 神が黙っておられるとき、だれが神をとがめよう。神が御顔を隠されるとき、だれが神を認めよう。一つの国民にも、ひとりの人にも同様だ。
34:30 神を敬わない人間が治めないために、民をわなにかける者がいなくなるために。
34:31 神に向かってだれが言ったのか。「私は懲らしめを受けました。私はもう罪を犯しません。
34:32 私の見ないことをあなたが私に教えてください。私が不正をしたのでしたら、もういたしません。」と。
34:33 あなたが反対するからといって、神はあなたの願うとおりに報復なさるだろうか。

私ではなく、あなたが選ぶがよい。あなたの知っていることを言うがよい。

34:34 分別のある人々や、私に聞く、知恵のある人は私に言う。

34:35 「ヨブは知識がなくて語る。彼のことはには思慮がない。」と。

34:36 どうか、ヨブが最後までためされるように。彼は不法者のように言い返しをするから。

34:37 彼は、自分の罪にそむきの罪を加え、私たちの間で手を打ち鳴らし、神に対してことば数を多くする。

神は確かに、不法の者を滅ぼし、また寄るべのない者すなわち弱い者を助けてくださいます。しかし、私たち人間の価値観が神を支配することはできません。ヨブのように「神は〇〇の点で間違っている」と「言いかえし」をすることはできないのです。

神様は深遠な思慮と永遠の計画と無限に高い知恵を持った方です。ヨブのように苦しみ抜くまでもなく、私たちがこの神の前に主権を認めてひれ伏しましょう。そのとき、神のすばらしい思慮と計画と知恵を受けることができるようになるのです。

神様に抗うよりも、そのみこころを聞いて、みこころに沿って生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶16日 木曜

ヨブ記



35:1 エリフはさらに続けて言った。
35:2 あなたはこのことを正義によると思うのか。「私の義は神からだ。」とでも言うのか。
35:3 あなたは言っている。「何があなたの役に立つのでしょうか。私が罪を犯さないと、どんな利益がありましょうか。」と。
35:4 私はあなたと、またあなたとともにいるあなたの友人たちに答えて言おう。
35:5 天を仰ぎ見よ。あなたより、はるかに高い雲を見よ。
35:6 あなたが罪を犯しても、神に対して何ができよう。あなたのそむきの罪が多くても、あなたは神に何をなしえようか。
35:7 あなたが正しくても、あなたは神に何を与えようか。神は、あなたの手から何を受けられるだろうか。
35:8 あなたの悪は、ただ、あなたのような人間に、あなたの正しさは、ただ、人の子に、かわりを持つだけだ。
35:9 人々は、多くのしいたげのために泣き叫び、力ある者の腕のために助けを呼び求める。
35:10 しかし、だれも問わない。「私の造り主である神はどこにおられるか。夜には、ほめ歌を与え、
35:11 地の獣よりも、むしろ、私たちに教え、空の鳥よりも、むしろ、私たちに知恵を授けてくださる方は。」と。
35:12 そこでは、彼らが泣き叫んでも答えはない。悪人がおごり高ぶっているからだ。
35:13 神は決してむなしい叫びを聞き入れず、全能者はこれに心を留めない。
35:14 しかも、あなたは神を見ることができなと言っている。訴えは神の前にある。あなたは神を待て。

35:15 しかし今、神は怒って罰しないだろうか。ひどい罪を知らないだろうか。

35:16 ヨブはいたずらに口を大きく開き、知識もなく、自分の言い分を述べたてる。

エリフの神観は友人たちと違い、「因果応報」ではなく「超越的な存在」です。ですから「罪を犯しても」「正しくても」、神は「心に留めない」と言っています。

しかし一方では、「神は…罰しないだろうか」と、因果応報的なことを言います。実は両方正しいのであって、神は遠い絶対者であるとともに、人の近くで愛してくださる方なのです。

エリフは一面では友人たちよりも優れていましたが、自分の神論こそが優れているとヨブを批判し、癒すことをしませんでした。

誰も神を完全に知ったものはありません。へりくだって、神のみこころを行いましょう。「ローマ 11:34 …だれが主のみこころを知ったのですか。また、だれが主のご計画にあずかったのですか。…すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。」というみことばの通りに。

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）



▶17日 金曜

ヨブ記

- 36:1 エリフはさらに続けて言った。
36:2 しばらく待て。あなたに示そう。まだ、神のために言い分があるからだ。
36:3 私は遠くから私の意見を持って来て、私の造り主に義を返そう。
36:4 確かに私の言い分は偽りではない。完全な知識を持つ方があなたのそばにいるからだ。
36:5 見よ。神は強い。だが、だれをもさげすまない。その理解の力は強い。
36:6 神は悪者を生かしてはおかず、しいたげられている者には権利を与えられる。
36:7 神は、正しい者から目を離さず、彼らを王たちとともに王座に着け、永遠に座に着かせて、高められる。
36:8 もし、彼らが鎖で縛られ、悩みのなわに捕えられると、
36:9 そのとき、神は、彼らのしたことを彼らに告げ、彼らがおごり高ぶったそむきの罪を告げる。
36:10 神は彼らの耳を開いて戒め、悪から立ち返るように命じる。
36:11 もし彼らが聞き入れて仕えるなら、彼らはその日々をしあわせのうちに全うし、その年々を楽しく過ごす。
36:12 しかし、もし聞き入れなければ、彼らは槍によって滅び、知識を持たないで息絶える。
36:13 心で神を敬わない者は、怒りをたくわえ、神が彼らを縛るとき、彼らは助けを求めて叫ばない。
36:14 彼らのたましいは若くして死に、そのいのちは腐れている。
36:15 神は悩んでいる者をその悩みの中で助



け出し、そのしいたげの中で彼らの耳を開かれる。

36:16 まことに、神はあなたを苦しみの中から誘い出し、束縛のない広い所に導き、あなたの食卓には、あぶらぎった食物が備えられる。

神は「悪者」と「正しい者」、「聞き入れる者」と「聞き入れない者」とに違った扱いをされます。ただ、今問題なのは、なぜ正しいはずのヨブが苦しむのかということです。それは時に私たちも悩みでもあります。

人間も神に造られたのですから、神の正しさに共感することもできます。しかし、だからといって、人間の正しさを神を評価することはできません。立場が逆です。また人間の評価には罪による欠陥があります。「理解できないから神が間違っている」とは言えません。

たとえ断片的にしかわからないとしても、神のみこころを行うべきです。そうするとこのエリフのようなことばでさえ、傾聴し、受け入れることができるようになります。

「ローマ 8:28 ...神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」分からないことがあっても主に信頼して、従いましょう。

愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、



▶18日 土曜

ヨブ記

36:17 しかし、あなたには悪者の受けるさばきが満ちている。それでさばきと公義があなたをつかまえる。

36:18 だから、あなたは憤って、懲らしめに誘い込まれないようにせよ。身代金が多いからといって、あなたはそれに惑わされないようにせよ。

36:19 あなたの叫びが並べたてられても、力の限りが尽くされても、それが役に立つだろうか。

36:20 国々の民が取り去られる夜をあえぎ求めてはならない。

36:21 悪に向かわないように注意せよ。あなたは悩みよりも、これを選んだのだから。

36:22 見よ。神は力にすぐれておられる。神のような教師が、だれかいようか。

36:23 だれが、神にその道を指図したのか。だれが、「あなたは不正をした。」と言ったのか。

36:24 人々がほめ歌った神のみわざを覚えて賛美せよ。

36:25 すべての人がこれを見、人が遠くからこれをながめる。

36:26 見よ。神はいと高く、私たちには知ることができない。その年の数も測り知ることができない。

36:27 神は水のしずくを引き上げ、それが神の霧となって雨をしたたらせる。

36:28 雨雲がこれを降らせ、人の上に豊かに注ぐ。

36:29 いったい、だれが雲の広がりと、その幕屋のとどろきとを悟りえよう。

36:30 見よ。神はご自分の光をその上にまき散らしました、海の底をおおう。



36:31 神はこれらによって民をさばき、食物を豊かに与える。

36:32 神はいなずまを両手に包み、これに命じて的を打たせる。

36:33 その雷鳴は、神について告げ、家畜もまた、その起こることを告げる。

エリフはヨブが悪者であると決めつけて忠告を続けます。もしも私たちが「すべて正しいことを言う人でなければ、意見を聞くに値しない」と考えるなら、その人の正しい意見までも否定してしまうこととなります。エリフも正しいことを言っているのです。

「(自分は正しいと) 憤って(法廷論争に持ち込もうとすると、結局罪があるのだから) 懲らしめに誘い込まれ」てしまう。これも正しいのです。「神はいと高く…」ということも。

自分が部分的に正しいからといって人をさばくことはやめましょう。また自分を非難する人からさえ、謙遜に聞きましょう。そしてここにあるような神の真理に生きましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



37:1 これによって私の心はおののき、その所からとびのく。

37:2 しかと聞け。その御声の荒れ狂うのを。その御口から出るとどろきを。

37:3 神はそのいなずまを全天の下、まっすぐに進ませる。それを地の果て果てまでも。

37:4 そのあとでかみなりが鳴りとどろく。神はそのいかめしい声で雷鳴をとどろかせ、その声の聞こえるときも、いなずまを引き止めない。

37:5 神は、御声で驚くほどに雷鳴をとどろかせ、私たちの知りえない大きなことをされる。

37:6 神は雪に向かって、地に降れ、と命じ、夕立に、激しい大雨に命じる。

37:7 神はすべての人の手を封じ込める。神の造った人間が知るために。

37:8 獣は巢にもぐり、ほら穴にうづくまる。

37:9 つむじ風は天の室から吹き、寒さは北から来る。

37:10 神の息によって氷が張り、広い水が凍りつく。

37:11 神は濃い雲に水気を負わせ、雲が、そのいなずまをまき散らす。

37:12 これは神の指図によって巡り回り、命じられるままに世界の地の面で事を行なう。

37:13 神がこれを起こさせるのは、懲らしめのため、あるいは、ご自身の地のため、あるいは、恵みを施すためである。

ヨブが悪いと決めつけ、また論理に不整合（ときおり因果応報）があるエリフですが、他の友人たちと違っている点があります。それは神を人間の価値判断に適合して「このようになさるはずだ」と見るのではなく、人間の価値を超えた絶対者であると見ている点です。

ですから時には人間には理解不能であったり、理不尽に感じたりすることがあるのです。そしてそのエリフの発言は少なからず、後のヨブの悟りに影響を与えたと考えられます。

ここにあるように、自然の力つまりその猛威と恵からも神の偉大さを思いましよう。人間は弱く災害さえも予知できません。弱さを認めて主の主権の前にひれ伏しましよう。そして恵として祝福をいただきましよう。

愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、

